学校番号	２０２

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「精選 言語文化」（第一学習社）						
副教材等	「新明説総合古典文法」（尚文出版） 「新明説総合古典文法基本練習ノート」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、言語文化を発展させ、古典作品に触れる機会を増やします。読解に必要な文法や訓読法を身につけて作品を読み深め、他者と協働して考えを深めたりする活動を行います。
・古典作品に必要な基本的な語彙や文法事項をしっかり身につけましょう。また、読んで感じたこと、分析したことをまとめ伝えるための力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりする活動を行います。
・授業では、読み取ったことや語彙・文法のポイント、自分の考えなどをまとめて提出し ます。また家庭学習として、古語の意味調べや事前の読み取り課題などを課す場合があります。いずれも自分の力で、最後まであきらめずに取り組んでください。

2　学習の到達目標

古典作品に触れる機会を増やし、言語活動を通して、正確な読解・理解力と効果的な表現力を次の通り育成することをめざす。
(1) 古文と漢文を読む力を養うとともに、正しく古典作品と心情等を理解するために語彙力や文法の知識を身につける。また古典作品に親しむため、文章の歴史的、文化的背景などを理解する。
(2) 古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化を知る。他の作品との関係性をふまえ、内容の解釈を深める。
(3) 古典についての理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古文と漢文を読解し、正しく古典作品と心情等を理解するために語彙力や文法の知識を理解しようとしている。	「読むこと」の領域において、作品の価値について自ら考察する力を養い、我が国の文化を知ろうとしている。また他の作品との関係性をふまえ、内容の解釈を深めようとしている。	自ら進んで言語活動学習に取り組み、古典についての理解や関心を深め、他者や社会との関わりの中で効果的に言葉を用いようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物語の中で和歌が果たす役割を押さえながら、登場人物の心情を味わう。 ［教材］ 『伊勢物語』 「初冠」	a：古典を読むのに必要な文法や語彙を身につけている。 b[読]：古典における決まりや語彙を正しくつかみながら、主人公の状況や心情を、和歌表現の理解も含めて把握し、味わうことができる。 c：古典に必要な正確な知識を自ら進んで学習し、当時の価値観や習慣を調べたり考えたりしながら、作品の面白さをつかもうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形の面白さを読み取る。 ［教材］ 『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」	a：古典の仮名遣いや文法の基礎知識、読むのに必要な文法や語彙を身につけている。 b[読]：古典における決まりや語彙を正しくつかみながら、話の展開の面白さを正確につかむことができる。 c：古典に必要な正確な知識を、自ら進んで学習し、身につけようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	随筆を通して、日本の文学作品に通底するものの見方を読み取る。 ［教材］ 『方丈記』 「ゆく河の流れ」 「安元の大火」	a：文章に表れている、言葉のリズム、修辞などの表現の特色を理解している。 b[書]：作品に表れているものの見方、感じ方を、自分の身の回りの出来事まで範囲を広げて表現できる。 c：時代背景や思想などを、教科横断的に学ぼうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	訓読に慣れるとともに、現在も使われている言葉が、漢文由来であることを知る。 ［教材］ 『戦国策』 「蛇足」	a：漢文訓読に必要な基礎知識や基本的句型について理解している。 b[読]：漢文訓読の知識を用いて、的確に内容を捉えることができる。 c：漢文訓読や読解に必要な知識を自ら進んで学習している。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	平安時代における和歌の重要性と、文化背景について、説話から学ぶ。 ［教材］ 『古今著聞集』 「大江山」	a：古典の仮名遣いや文法の基礎知識、読むのに必要な文法や語彙を身につけている。 b[読]：人物関係を踏まえながら、内容の解釈を深めることができる。 c：「和歌」が古典の中でどのようにとらえられてきたかを考え、意見を表現しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
2学期	当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ［教材］ 『枕草子』 「春は、あけぼの」	a：先人のものの見方、考え方に親しみ、自分のものの見方、考え方を豊かにしている。 b[書]：作品に表れているものの見方、感じ方を、自分の身の回りの出来事まで範囲を広げて表現できる。 c：先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で、自分の想いや考えを広げようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	異なる種類の随筆を読み、作者の提示する事柄を具体的に読み解く。	a：先人のものの見方、考え方に親しみ、自分のものの見方、考え方を豊かにしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート

	［教材］ 『徒然草』 「ある人、弓射ることを習ふに」	b[読]:作品の成立背景や他の作品との関係を踏まえながら読み、内容の解釈を深めることができる。 c:作者の批評を通して、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。	小テスト	ノート	
	表現や技法に留意しつつ監視を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人間に向けていた思いを読み取る。 ［教材］ 「李白　静夜思」 「王維　送元二使安西」	a:日本の文化と中国の文化の関係について理解している。 b[読]:。詩形など漢詩の決まりを踏まえて、構成や展開を的確に捉えることができる。 c:言葉がもつ価値への認識を深め、現在の韻文にも考えを広げようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
3 学 期	1000年続く長編物語を読み、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ［教材］ 『源氏物語』 「光る君誕生」	a:古典を読むのに必要な文法や語彙を身につけている。 b[読]:古典単語、助動詞、敬語、古典常識など広範な知識を用いながら、内容の解釈を深め、内容を的確にとらえることができる。 c:世界中で評価されている作品を通して、伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間